

J-クレジット売買契約 地元事業所・団体も続々

森林等の二酸化炭素の削減量・吸収量を認定し売買を可能としたJ-クレジットは、令和4年度も多くのお客様にご購入いただいています。4月から7月までの間に、以下のとおり27件の契約（510トン・448万8千円）が行



われました。7月14日には霞の(有)大生建設（川田嗣男社長）、笠木の(有)近藤板金工作所（近藤英義社長）、日野町の(株)マシン・メンテナンス（田邊秀幸社長（花口））の地元企業3社が同時に契約し、7月15日には生山のひがし司法書士事務所（東洋祐代表）、日南町商工会青年部（東洋祐部長）が契約するなど、地元事業所・団体にも続々ご契約をいただきました。



4月 1日	(株)Joy Garden
4月 7日	薪ストーブ専門店 アリュメール米子
4月20日	(有)金居運送
5月16日	山陰フェンス工業(有)
5月24日	(株)中海テレビ放送
5月25日	(株)ケイズ
6月 1日	World Utility(株)
6月 1日	(株)プリムローズガーデン
6月 2日	(株)平設計
6月 6日	(株)D・I・P
6月 6日	(株)サクセス
6月13日	(有)多林製作所
6月14日	米子ガス産業(株)
6月21日	(株)カンダ技工

6月21日	三嶋クレーン(有)
7月 1日	NPO法人えがおサポート
7月 7日	(株)足立本店
7月 8日	(株)リージョンデザイン・ホールディングス
7月12日	(株)ライトスタッフ
7月14日	(有)大生建設
7月14日	(有)近藤板金工作所
7月14日	(株)マシン・メンテナンス
7月14日	カルネコ(株)
7月15日	ひがし司法書士事務所
7月15日	日南町商工会青年部
7月28日	(株)大新
7月28日	(株)広洋コンサルタント

(敬称略)

御礼 思い出のランドセルがモンゴルへ

企画課では、日南町が平成30年から友好交流を行っているモンゴル国ゾーンモド市へ不要になったランドセルを集めて寄贈し、子どもたちの学びに役立てようという運動を6月から行ってきました。

広報にちなんやホームページ、新聞などで募集を行ったところ、町内外から目標の50個を大きく上回る90個のランドセルが寄せられました。ランドセルは不要になっても思い入れがあり処分できなかったという保護者も多く、「再び役に立てるのなら」とたくさんの方が運動に共感してくださいました。中には同市の子どもたちへ向けたメッセージが添えられているものもあり、同市から派遣されている町交流支援員のエレデネジャブ・ノミンさんがモンゴル語に翻訳し、ランドセルと一緒に箱詰めしました。

このランドセルは職員の手で梱包し、8月8日にゾーンモド市に向かって送られました。ご協力本当にありがとうございました。



《エレデネジャブ・ノミンさんからメッセージ》

可愛いランドセルがたくさん集まりました。モンゴルへランドセルを贈るとい活動にご協力くださったみなさんに本当に感謝しています。みなさんが温かい気持ちを寄せてくださり、無事たくさんランドセルが集まりました。思い出がたくさん詰まったランドセルをゾーンモド市の子どもたちへ無事に届けるため頑張りました。ゾーンモド市の子どもたちが喜び顔を楽しみにしています。

